



ゴルフの街に生まれた青年にとって、
ゴルフクラブを作ることには、
自然の成り行きだった

中心はセンサーにあるのに、サイドラインが微妙にズレていたりして……。親友の父親にも自分で作ってみようと言われて、CADでしっかり設計して、誰よりも熱心に当たるバッテリーを作り始めました。作り手本人のプレーヤーとしての経歴が強部に生かされているのがクロノスのバッテリーの特徴です。「一番に考えているのは、デザインで機能を意識させないよう」にすることです。例えば、メットルーム(METEOROOM)のヘッドに入っているセンサーのヘッドに入っているセンサーの直径の大きさをシャフトの軸と、使い手はどうしてもその軸と合わせようとしています。そうすると、動きが回らなくなってミスにつながってしまいます。ほんの少しボールの位置より軸をずらすことで、自然とスクエアに構えられる。そうしたディテールにこだわって作っています。「細やかなこだわりは、必ず書ききれないほどあります。若き匠が丹誠を込めて作るバッテリーを、ぜひコースで試してみてください。」



高精度センサーの企画と組み、フィッティングシステムにも取り組み中(左) サイドラインの幅をボールの軌跡より若干狭めている。(モデル:メットルーム)

知ってるほどー ゴルフギア

いつもゴルフは日常の中にあつた

クロノスの作り手であるフィリップ・ラバースは、世界的なゴルフメーカーの数々が拠点を置くゴルフの街・カールスバッドで生まれた。1985年生まれ。1998年、親友の父親のゴルフクラブを製造する工場を訪れた。その工場では、余った素材をもらってはゴルフに関連するものを作り、それを自由研究の課題として提出したりしました(笑)。

そんなゴルフが当たり前の日常を送っていたフィリップに、大きな転機が訪れたのが大学在学中。当初は仏語を学びたいとフランス留学を希望していましたが、両親に「アジアのことを学んでほしい」と言われ、急遽留学先をアジアに変更。それが彼とアジア、そして日本との出会いとなりました。

母親は中国とタイのハイフで、父親はスペインとフィリピンのハイフ。ボクのカラダにはアジア

の血が流れているのに、アジアのことは何も知らず、いまさらた。両親にそう言われて、アジアの大学に行くことにして、そのときちょうど京都に叔父がいて、日本の経済が面白そうだと思うって、同志社に進学し、さらに卒業後は大阪大学に行きました。

高校時代から体育会員のゴルフ部に所属し、ばりばりのアスリートゴルフアとして活躍していたフィリップでしたが、バッテリー作りのきっかけは、冒頭の親友の結婚に参列したとき、その父親からかけられた一言でした。

「好きなバッテリーを自分で作って試合で使ったらどう？」

「プレーヤーに機能を意識させない、細やかな配慮」

「当時は既製品を使っていた、結構重心がズレているなど、

若き匠が生み出す“ホンモノ”
クロノスパターの完成度

このさわやかな青年が生みの親

クロノス注目の新製品

(クロノスゴルフ キャンピー KAMPE)

計算されたロフト0度バッテリー

クラシックな形状のバッテリーをこよなく愛するフィリップだが、今回数量限定でゼロマレット型のバッテリーを開発。高精度センサーを作る企業とタッグを組み、さまざまなプレーヤーのストロークを分析し、より高精度で重心ヒットできる高重心のゼロマレットバッテリーを生み出した。また、「ロフト0度」の設定により、転がりのよさも抜群だ。ヘッドをしっかりと感じられるシャフトも開発するなど、考え尽くされている。

- ロフト0度 / 0度
- 長さ / 99cm
- 重量 / 13.2kg(シャフト)
- ヘッド / 350g(31インチ) / 380g(34インチ)
- ヘッド重量 / 11.1kg(31インチ) / 12.1kg(34インチ)
- ヘッドスピード / 45m/s(45m/s以内) / 50m/s(50m/s以内)
- 価格 / 7万円0円(税別)

大好評シリーズ! 「プロの目線」が体感できる!

特別付録 飛ばし屋女子の連続写真集 「なぜ飛ぶの?」がまるわかり!

プロ目線

GOLF 11 November 2017 定価670円

プロの視界をキリトリ解説! ドライバーと7番アイアン

最新 ドライバー 厳選10本! アマチュアが一番飛ばせるのはコレだ!

新潟・十日町 温泉&お米を味わう リゾートゴルフ旅

これが正しい インパクト!

プロ目線で うまくなる!

松山英樹 アドレスからトップまで右足の見え方を変えない!
ジョーダン・ス皮ース フェース面が体を向けばビタッとスピンがかかる!